

アーカイブ No.2 熊井

※アーカイブとは、重要記録を保存・活用し、未来に伝達することをいいます。

熊井地区は、佐賀地域の中央部、伊与喜地区の南西部に位置し、主な産業は水稻・シメジ栽培、ハウス園芸やかんきつ類の栽培などの農業です。

熊野神社



鳥居をくぐり、九十九折りの坂道、階段を上がると、熊野神社にたどり着く



神社の中には神輿の保管、絵馬も奉納されている

熊野神社の例祭は、旧暦6月15日と、9月15日の年2回開催されていた。当時は、100人余りで祭りの運営をしてきた。花取踊りを踊る子どもらの姿もあった。神輿の担ぎ手も減り、現在は、宮総代や神官、伊与喜校区6部落の区長や当人が中心となり五穀豊穡や家内安全を願い、秋祭りだけの開催となっている。



国道56号線からの鳥居横の石碑と旧道から入るところに残されている鳥居

熊井隧道



熊井地区から上分地区へ抜ける熊井トンネル(長さは90メートル)は、明治38年12月に完成した。

トンネルに使用されているレンガは佐賀港から、1個1銭の運び賃で小学生が1~2個ずつ運んだとのこと。

昭和14年までは県道として利用され、現在は、土地の人の通行や遍路道として利用されている。

編集後記

令和2年の始まりは、久しぶりに初日の出を拝み、今年の豊作と幸せを願いました。昨年は、台風15、19号が日本列島を縦断し、東日本を中心に暴風や大雨による甚大な被害が発生しました。

この時によく報道機関では、「想定外」という言葉が使われますが、地球温暖化等により、最大瞬間風速60メートルや最大時間雨量120ミリパー程度は常態化していることから、「想定内」としての判断が必要と思われるます。

これからも、ハード・ソフト面の防災・減災対策は重視されますが、特に少子高齢化、人生100年時代を迎え、災害時には、地域での役割分担を決め、人と人のつながりやお互いが支え合う地域づくり「共生の時代」となってきました。

この一年が皆様にとって、平穏でありますように。

(中島一郎)

議会広報常任委員会

委員長 浅野修一

副委員長 宮地葉子

委員 中本哲也

同 濱島一

同 川村美香

同 徳光